

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育
事業所名	守山市立よしみ乳児保育園
代表者氏名（管理者）	園長 河本 恵里
法人名	社会福祉法人 洛和福祉会
定員（利用人数）	55名
施設・事業所所在地	滋賀県守山市吉身二丁目5-9
T E L	077-514-0280
F A X	077-514-0281
電子メール	kawamoto-eri@rakuwa.or.jp
ホームページアドレス	https://www.rakuwa.or.jp/hoiku/yoshimi_infant.html

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会
評価実施期間	令和6年10月9日・10月10日

3 評価の概要

○ 総合評価

社会福祉法人洛和福祉会『守山市立よしみ乳児保育園』は、令和6年4月1日に開設された真新しい保育園です。守山市役所庁舎の並びに位置しており、交通の便が良い街中の保育園です。守山市の待機児童数の増加に対応して開設した乳児保育園として、「心もからだも元気な子ども」「笑顔あふれる思いやりのある子ども」「遊びに夢中になれる子ども」を保育の目標に掲げ、地域の保育ニーズに添った運営を着実にを行っています。

乳児（0歳～2歳）を対象とすることで『育児担当保育』を取り入れ、乳児期の心と身体を育み、「一人ひとりの期待や希望、要求を感受性豊かに受けとめ、子どもの気持ちに寄り添いながら優しく体と言葉で応える」保育を提供しています。今回の保育園評価を通じて、人としての基礎となる生活習慣（食事・睡眠・排泄等）を育むことの重要性が良く理解出来ました。また、園全体が醸し出すゆったりとした時間や安心感を大切にした保育園として、子どもたちの成長に欠かせない場所となることを期待します。

○ 特に評価の高い点

・待機児童増加の対応について

守山市における待機児童増加に伴い、社会福祉法人洛和福祉会と守山市の連携により、公設民営のよしみ乳児保育園が開設されました。これにより待機児童を少しでも減らすことが出来た事、また、市内在住の保護者が就労に就きたいが、子どもを預ける場所がないというニーズに沿って、タイムリーに乳児期から入園できるよしみ乳児保育園を立ち上げられた事は、地域課題の解消に向けた良い施策だと思われます。

・個別保育計画について

一人ひとりの子どもにしっかりと向き合い、専門的な知識・実践に基づき、子どもが家庭と同じようにゆったりと落ち着いて過ごせる環境作りがされています。また、人との関わりや社会のルール、生活力、想像力など発達段階に応じた個別計画、年間計画を適宜見直しながら、教育、食育、生き物や植物の成長等も感じられる保育計画を実施しています。

・職員育成、生産性の向上について

洛和福祉会としての職員の福利厚生制度は充実しています。よしみ乳児保育園として働く環境が整っている様子が見受けられました。職員育成の為にOJT研修がしっかりと研修計画に取り入れられており、職員の個人面談で将来の目標を明確にし、内

部研修だけではなく、法人研修や行政の研修にも職員が参加し、園内での伝達研修もしっかり実施しています。また、記録や伝達事項は、保護者向けのアプリ、業務向けのアプリを使い分けることで業務の短縮化・ペーパーレス化を行い、結果として生産性の向上に繋がっていると考えます。

・防犯対策への取組

今回の第三者評価の受審において、保護者アンケートを取りましたが、保育園の防犯・不審者対応に関して、不安に感じている回答が一定数ありました。新設の保育園として法人本部の協力を得て、園内12ヶ所に防犯カメラが設置されており、子どもの安全がしっかり確保されていると感じました。また、緊急時の対応マニュアル等も整っており、安心・安全を最優先に考えている保育園だと確認出来ました。

○ 改善を求められる点

・地域への情報公表、自治会等との交流について

開園して日も浅いため、地域住民との交流や自治会との関りが、今後の課題だと思われます。守山市の広報だけではなく、園だよりを自治会の回覧版で回してもらう等、よしみ乳児保育園の子どもたちの表情や職員の頑張りを地域の方にも知ってもらい、守山市子育て支援事業「にこにこ広場」等で未就園児や子育てで悩んでいる保護者、子どもと関わりを持ちたいと思っている高齢者等とも交流できる機会を設けることをお勧めします。

・職員の休暇取得について

職員の休暇取得については。法人全体で適切に管理されており、有休休暇等の取得も確実に消化出来ていると感じました。しかし、現場の一保育園として職員全体の休暇取得のバランスはどうでしょうか。休暇取得が同じ人ばかりに偏っていないか、一部の職員に業務負担が偏っていないかなど、職員全体の休暇取得率や勤務時間の多寡を確認することが必要だと考えます。

・園内研究等の公表について

よしみ乳児保育園では「育児担当保育」に取り組んでおり、一人ひとりの発達状況や子ども同士、大人との関わりや自主性を尊重した保育内容など、今後の保育現場に求められる保育の在り方を実践しています。この先、実践を積み重ねて「育児担当保育」の良さを、地域住民や市、県、県内の保育施設等へ公開し、よしみ乳児保育園の良い取組みをアピールすることで、地域にとってより必要とされる乳児保育園になると思われます。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

令和6年4月1日に開園させていただき乳児53名の園児が全員新入園児であったため、まずは保育者と子どもたち、保護者との信頼関係づくり、安全・安心な保育環境づくりを最優先に運営してまいりました。日々様々に起こる出来事に真摯に対応し、大切なお子さまを預かる場として保育者一丸となって取り組んできました。保護者の皆様には、園運営にご理解をいただきご協力をいただいたおかげで、一年間安定して運営ができたと感謝しております。

開園して初めての第三者評価を受審させていただきましたが、評価を受けるにあたり自己評価や振り返りを行う中で、現状の園の状況を再確認し、よしみ乳児保育園に足りていないところはどこなのかということを明確にさせていただいたことで、今後の改善すべき点などへの気付きとなりました。現状で保育園が取り組んでいることに対して高い評価をいただいた部分もあり、現場の保育士も日々の保育への自信に繋がったと思います。

今回の評価結果を受け、次年度は本園で取り組んでいる「育児担当保育」の良さや子育て情報を広く伝えていくなど、乳児保育に特化した保育内容を生かし地域に根差した保育園を目指してまいります。ありがとうございました。